

日常生活の指導学習指導案

知的障害特別支援学級(はばたき学級) 6人(5年男子1人, 4年女子1人, 3年男子2人, 3年女子2人)

指導者 藤原志穂美

1 題材名 朝の会～今日も花マル!～

2 題材の目標

- 自分なりの目標や目的をもち、意欲的に活動することができる。
- 友達と協力して活動することができる。
- 温かい言葉を掛けたり、互いの頑張りを認めたりしようとするすることができる。

3 題材について

(1) 題材の価値

本学級の子どもたちは、これまでの「朝の会」を通して、あいさつ、返事、時間や決まりを守ることなどの一つ一つの事柄を、集団の中で体験したり、繰り返し活動したりすることで身に付けてきている。自分が任された仕事は自分でやり遂げることができたり、みんなで同じ活動に取り組むことができるようになってきたりしてきている。しかし、注意が拡散し、集中して取り組むことが難しかったり、活動をしていくうちに目的が曖昧になったりすることで、それぞれの活動を行う際、途中で意欲をなくしてしまう姿も見られた。また、自分のすることに強いこだわりをもつことや、周りのことを考えない一方的な行動から、友達と関わりながら同じ活動をすることが難しいこともある。

そこで、本題材では「朝の会」を通して、一日の流れや一単位時間の中での各活動に見通しをもって参加できるようにし、活動の中で意識してほしいポイントや、全員で共有できる内容を視覚的に示し、意欲的に活動をしていくことができるようにする。また、子どもが自ら方法を選択できるようにしたり、子どもたち同士の話合いで選んだり決めたりすることで、自然と関わりをもてるようにし、ペアや全員で活動に取り組むことができるようにする。さらに、活動をする中で、言葉を掛け合ったり、励まし合ったりできた場面を大切にすることで、協力して活動することの良さに気付くことができるようにすると共に、友達の良さや頑張りを認め合うことができるようにする。

指導に当たっては、まず、「はてなカード」を活用することで、見通しをもって朝の会に参加できるようにする。「はてなカード」は九つ準備し、朝の会の流れの順序に合わせて、それぞれの活動に合った内容を順番にめぐりながら提示していく。「はてなカード」には、望ましい姿勢や態度に気付くことができるような内容をイラストで示したり、活動に必要な質問や活動内容などを文字で示したりすることで、それぞれの活動に合った自分なりの目標や目的を考えることができるようにする。そして、どんなことが書かれているか思い出したり、疑問に思ったりしながら、「はてなカード」が示す内容を全員で確認し、一緒に活動する中で、それぞれの活動への意識を高めたり、子ども自身が自分なりの目標や目的をもつことができるようにする。また、「はてなカード」を常に掲示しておくことで、活動を振り返り、「はてなカード」に書かれたポイントへの意識を持続できるようにする。次に、当番活動では「時間いっぱいコース」と「進んでできるもんコース」の二つのコースを設定することで、ペアや全員で協力することができるようにする。「時間いっぱいコース」では、一つの活動を時間を決めて行うことで、全員で協力することができるようにする。「進んでできるもんコース」では、当番活動の内容を示したカードにハート(協力)の印を記載したものを準備することで、自分が進んでできたり自信をもってできたりする活動だけでなく、友達と協力して行う活動にも取り組めるようにする。そのとき、活動内容は自分で決めて、自ら友達と関わるようにする。その際、教師の言葉掛けだけでなく、協力できたことを視覚的に確認し、称賛することで、全員でできた達成感や喜び、「また一緒に協力して活動したい。」という気持ちを高めることができるようにする。さらに、「がんばりボード」に花丸のカードを貼っていくことで、自分だけでなく友達の頑張りにも気付くことができるようにする。また、いつでも振り返ることができるように、一日を通して「がんばりボード」を掲示しておくことで、子ども一人一人が充実感をもって一日のスタートを切って、学校生活を楽しく過ごすことができるようにする。

このように、『朝の会』～今日も花マル!～の指導を通して、子どもに身に付けたいことを繰り返し指導することができる。それだけでなく、子どもの特性を考慮しながら、集団で共通の活動をしていくことで、子ども一人一人のよさが生かされる場面を大切にし、具体的な見通しや期待感をもって、その日の学校生活をスタートすることができるようにしたい。また、友達と一緒に関わり、教え合ったり、助け合ったりしながらやり遂げる経験を積み重ねて行くことが、集団生活や交流学級の一員としての自覚をもち、学校生活や社会生活においての人間関係をよりよくしていくことにつながると考える。

(2) 子どもの実態

児童名	題材に関する実態		
	スケジュールの理解	コミュニケーション	役割理解
A児 (三年男子)	<ul style="list-style-type: none"> 思っていたことをなかなか行動できずに忘れてしまうことも多いが、事前に伝えることで、スムーズに行動ができるようになってきた。 一日の流れを自分から把握しようとするようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味のあることに対しては、自分から進んで話すことができる。理解が難しい面があるため、大切なことを伝えるときは、個別に対応している。 相手の気持ちを考えることができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいことには不安感を表にするが、自分ができることには前向きに挑戦することができる。 時間は掛かるが、自分の任された活動は、最後まで一生懸命取り組むことができるようになってきた。
B児 (三年女子)	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくり具体的に説明をすることが必要であるが、一つ一つの活動の前に、細かく言葉掛けをしたり、一緒に確認したりすることで、自分から進んで理解しようとするようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 場の状況を把握することが難しく、必要以上に大きな声で話すことが多いが、人なつこい性格で、誰とも積極的に関わろうとすることができる。 自分の思いを強く主張し、相手の事を考えて行動できないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順や方法が分かっているが、注意集中が難しく、活動が中途半端になることがある。 活動の内容によっては、終わるまでに時間が掛かることがあるが、見届けや声掛けを細かくすることで、最後まで取り組むことができる。
C児 (三年女子)	<ul style="list-style-type: none"> 不安になると、同じ質問を繰り返すことがあるが、一つ一つ確認しながら、見通しをもたせるための手立てや言葉掛けをすることで、落ち着いて行動ができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 物静かであるが、誰にでも話し掛けることができ、優しく接することができるので、友達も多い。 自分の言いたいことを言葉や動作で伝えようとするが、相手に伝わらないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> 決められた仕事や任された活動に責任をもって取り組むことができるようになってきた。 手順や手段を視覚的に示したものがあつて、覚えたり、繰り返して行ったりすることができるようになってきた。
D児 (三年男子)	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に提示している活動内容について、言葉のやりとりを繰り返すことで、意図が伝わり、安心して行動をすることができる。 板書に書いてある学習の進め方を見て、自分で進んで活動できるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 大勢で遊ぶことより一人や二人を好む。親しい相手には、自分から話し掛けたり、冗談を言ったりすることができる。 自分から声を掛けて友達と関わることは少ないが、大勢の輪に入って楽しく過ごすことができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人で黙々と取り組むことができる。任された仕事は、丁寧に取り組むことができるようになってきた。 積極的に友達を手伝ったり、進んで活動に取り組んだりする姿が見られるようになってきた。
E児 (四年女子)	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活における一日の流れを把握し、「いつ」「どこで」「何がある」など、各時間の活動内容について理解できることが多い。一つ一つの活動については、教師の声掛けによって、次の活動をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰にでも話し掛け、とても人なつこい性格である。 名前を呼ばれても故意に無視をしてみたり、周りの気を引こうとしたりすることがある。 自分の言いたいことをおおよそ伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順や方法が分かっている活動であっても、自分から進んで取り組むことは少ない。しかし、教師や友達と関わりながら活動することで、意欲的に活動に取り組むことができるようになってきた。
F児 (五年男子)	<ul style="list-style-type: none"> 情緒が不安定になることが多く、活動が最後までできることが難しいが、順序が理解でき、見通しがもてる手立てによってスムーズに活動することができるようになってきた。 授業などの活動が終わる時間等を気にするので、あらかじめ伝えておく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 人と関わりたいという気持ちはある。 自分が不快と感じたときに、友達へ物を投げたり、手が出たりすることがある。 自分の言いたいことは言葉や動作で伝えようとするが、うまく相手に伝わらず、気持ちが落ち着かなくなってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな活動でないことと取り組むことが難しいが、決まった手順や方法があると、誰よりも一番にやり遂げたいと、意欲的に活動に取り組むことができるようになってきた。 仕事を任せたり、手本として紹介すると意欲的に活動することができる。

4 指導に当たって

○ 「自分事の問い」をもたせる教材・教具【しかけ1】

- 朝の会の流れを視覚的に提示することで、活動への見通しをもつことができるようにする。
- 活動で意識してほしいところや全員で共有できる内容を「はてなカード」で示すことで、一人一人が意欲的に活動することができるようにする。
- I C T操作の手順を示した「手順カード」を活用し、子どもが自ら進んで調べ方を選択したり、積極的に調べたりすることで、子どもの興味・関心を高めることができるようにする。

○ 「自分事の問い」につなげる発問【しかけ2】

- 「はてなカード」の内容に着目できるような発問をすることで、意識するポイントを確認できるようにする。

○ 「自分事の問い」をふかめる場【しかけ3】

- ・ 活動を子ども同士で活動を決める場面を設定することで、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることができるようにする。
- ・ 当番活動では、一人で行う当番活動だけでなく、友達と協力して取り組む当番活動も準備することで、協力して活動することができるようにする。

○ 「自分事の問い」をひろげる連携【しかけ4】

- ・ 花丸の数は、保護者との連携の一つである連絡帳に記入することで、子どもたちの頑張りの成果を家庭でも共有できるようにする。
- ・ 朝の会の時間にできた活動の成果を交流学級担任に伝えることで、交流学級でも称賛してもらえるようにする。
- ・ 連絡帳を家庭に持ち帰り、保護者にサインやコメントを書いてもらうことで、家庭との連携を図ることができるようにする。

5 指導計画（総時数 70 時間：2 学期）

一次	教師と一緒に参加し、朝の会の流れや進め方を知る。	
二次	教材・教具の習得とそれらを使用した発表の仕方を知る。	
三次	習得したことを活用し、児童が役割を分担しながら朝の会を進行する。	
指導のねらいと主な活動内容		
毎時間の学習活動・内容は、日々同じ流れで行う。		
1 朝の会の準備をする。	「自分事の問い」	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日直は、朝の会を進行するための位置に椅子を準備する。 ・ 使用する教材・教具の準備をする。 		今日は花丸が〇個もらえたらいいな。
2 朝の会をする。		今日はどんな活動するのかな。
(1) 始めのあいさつをする。 〈活動のねらい〉 良い姿勢（ペタ・チョコ・ピン）に気を付けて、元気よくあいさつができるようにする。		「はてなカード」に気を付けてできるかな。
(2) 朝のあいさつをする。 〈活動のねらい〉 「相手を見る」、「口を開けてはっきりと声を出す」、「元気よく」、挨拶ができるようにする。		良い姿勢であいさつをするぞ。
(3) 朝の歌を歌う。 〈活動のねらい〉 学級の明るい雰囲気をつくることことができる。 〈活動内容〉 ・ パソコンの中にある共有フォルダのデータから、歌う曲を決める。 ・ 曲に合わせて、みんなで歌を歌う。		今日は何の歌を歌おうかな。
(4) 健康観察をする。 〈活動のねらい〉 子どもに自分や友達の健康に興味・関心をもち、元気に毎日を過ごしたいという意識を育てる。 〈活動内容〉 ・ 日直は、元気よく友達の名前を名簿順で呼ぶ。 ・ 呼ばれた児童は、手を挙げて発言する。 ・ 最後は担任が必ずチェックをする。	元気よく言えるように頑張るぞ。	
(5) 今日の天気を調べる。 〈活動のねらい〉 ウェブページで天気を調べることで、一日の気象の様子を把握することができる。 〈活動内容〉 ・ インターネットで天気を検索する。 ・ 全国の天気から、鹿児島県の天気をクリックする。 ・ ホワイトボードに調べたとおりにマグネットで貼る。	先生がびっくりするぐらい元気よく言うぞ。	
(6) 今日の日付けを読む。	調べる方法をちゃんと覚えてるよ。	

家庭や交流学級との連携

目 標
<p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校で取り組んでいる活動や清掃活動（当番活動）を家庭でも実践することができる。 <p>【交流学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と積極的に関わることができる。 ○ 学校生活の中で、クラスの友達と協力したり、一緒に活動したりすることができる。

<p>〈活動のねらい〉 日付けを全員で読み、日付けの読み方を知る。</p> <p>〈活動内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日直が、月、日、曜日、天気を読み上げる。 ・ 日直の後に続き、全員で日付けを読む。 	<p>こうしたら 調べられるん だったな。</p>	<p>連 携</p> <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日、連絡帳に朝の活動の頑張り（花丸の数）を記入し、子どもたちの頑張りの成果を共有することができるようにする。 ○ コメントやサイン、言葉掛けの協力をしてもらい、家庭でも称賛してもらえるようにする。
<p>(7) 今日の記念日を調べる。</p> <p>〈活動のねらい〉 365日、それぞれの日に記念日があるということに興味・関心を持ち、「今日」についての歴史的な事柄や出来事などを、みんなで楽しく知ることができる。</p> <p>〈活動内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット（今日は何の日～毎日が記念日～）で調べる。 ・ いくつもの中から、日直が中心となって、ホワイトボードに書く記念日を決める。 ・ 最後に、「今日は〇〇の日です」と読む。 	<p>特別な読み 方の日付けも 読めたよ。</p> <p>今日は何の 日だろう。楽 しみだ。</p> <p>今日は、〇 日だが、も しかして、〇 〇の日かな。</p>	<p>【交流学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交流学級連絡帳で頑張りやを伝えたり、できるようになったことを伝えたりすることで、称賛してもらえるようにする。
<p>(8) 時間割を発表する。</p> <p>〈活動のねらい〉 一日の流れに見通しをもち、みんなの前で自分の頑張りたいことを発表することができる。</p> <p>〈活動内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間割のボードに貼った自分の時間割を発表する。 ・ 日直は質問を聞いて、今日の頑張ることを発表する子どもが答える。 	<p>今日は〇〇 を頑張りた いな。</p> <p>今日は〇〇 〇が楽しみ だな。</p>	
<p>(9) 当番活動をする。</p> <p>〈活動のねらい〉 みんなで協力して当番活動を行うことができる。また、自分が自信をもってできることを進んで行い、やり遂げることができる。</p> <p>〈活動内容〉</p> <p>《時間いっぱいコース》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで行う当番活動を日直が紹介する。 ・ 時間を設定し、時間いっぱい当番活動をする。 ・ 教師が「花マルカード」と「ハート（協力カード）」を配布する。 <p>《すすんでできるもんコース》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当番カードの中から、進んで自分がやりたい当番を選び、活動する。 ・ できたら、活動が終えたことを教師に伝え、チェックしてから「花マルカード」、「ハート（協力カード）」をもらい、次の当番活動に進む。 	<p>今日はみん なで〇〇を頑 張るぞ。</p> <p>これは、〇 〇さんと一緒 にやってみよ うかな。</p> <p>今日は〇個 も当番活動が できたよ。う れしいな。</p>	
<p>(10) ハッピータイム（お楽しみ活動）をする。</p> <p>〈活動のねらい〉 「見る」、「書く」、「描く」、「算数」、「音楽」に関する内容の中で、特に力を付けたいものを個別で補充したり、全員で活動し、協力したり助け合ったりして活動できる。</p> <p>〈活動内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曜日別の活動を行う。 	<p>今日の活動 は〇〇だ。楽 しみだな。</p> <p>今日もこん なに頑張れた よ。やったあ。</p>	

3 終わりのあいさつをする。片付けをする。

※ ハッピータイム（お楽しみ活動）について





	活動	主な内容	準備
月	「見る」活動	絵本・紙芝居の読み聞かせ、教育テレビ視聴、童話の視聴	
火	「書く」活動	視写、なぞり書き、筆圧をつけるプリントなど	活動ファイル
水	「描く」活動	自画像、スケッチブックにスケッチ（色塗り、かたちあそびなど）	スケッチブック
木	「音楽」に関する活動	手遊び歌、音楽に合わせて歌う、歌に合った表現運動	CDホルダー
金	「数」に関する活動	一人で数を数える、合わせていくつ、分けるといくつ	1 2 3ファイル

6 本時

(1) 全体目標 友達と協力して活動することができる。

個人目標	A児	友達に優しく声を掛けたり、友達と一緒に仲よく活動したりすることができる。
	B児	一緒に活動するために自分から声を掛けて、友達と活動することができる。
	C児	積極的に活動することができる。
	D児	一人で活動するだけでなく、友達に自分から声を掛けて、一緒に活動をすることができる。
	E児	自分で決めた活動や友達と一緒にすると決めた活動は、最後まで精一杯取り組むことができる。
	F児	みんなと朝の会に参加し、一緒に活動することができる。

(2) 展開 ○数字は、「自分事の問い」に対するしかけ(①教材・教具 ②発問 ③場 ④連携) ☆は ICT 活用の留意点 □ 自分事の問い

時間(分)	主な学習内容	子どもに応じた具体的な指導
(5)	1 朝の会を行う場の位置につく。  今日はどんな活動するのかな。楽しみだ。	② 子どもたち一人一人に、意欲が高まるような言葉掛けをすることで、やる気の溢れた雰囲気朝の会が始められるようにする。 ① 朝の会の流れマップを活用することで、日直だけでなく全員が見通しをもって会を進められるようにする。 ② 「はてなカード」を意識できるような発問をすることで、望ましい挨拶や態度を意識することができるようにする。また、常時掲示しておくことで、大切なことを意識できるようにする。
(30)	2 朝の会をする。  (1) 始めのあいさつをする。 (2) 朝のあいさつをする。 (3) 朝の歌を歌う。 (4) 健康観察をする。 (5) 今日の天気を調べる。 (6) 今日の日付を読む。 (7) 今日の記念日を調べる。 (8) 時間割を発表する。 (9) 当番活動をする。 (7) 時間いっぱいコース (4) 進んでできるもんコース  花丸〇こを目指して頑張るぞ。	【A児には】友達にやさしい言葉掛けできたことを称賛することで、友達と一緒に活動する意欲が高められるようにする。 ③ 意識して取り組むことや、友達に優しい言葉掛けができたことを称賛することで、次の活動への意欲を高めることができる。 ①③☆調べ方が分からなくなったときは、調べ方の手順カードを見ることでスムーズに調べられるようにする。また、周りの子どもたちからの言葉掛けを大切にすることで、全員で活動する意識がもてるようにする。 ④ 今日の天気は、調べたとおりにマグネットで貼れているか確認し、全員で称賛する。また、ホワイトボードに書く記念日を決める時には、それぞれの意見を大切にすることで、日直が中心となって他の子どもたちの意見をまとめられるようにする。 ① どのように決めればよいか困っているときは、手段を示すことで全員が気持ちよく活動することができるようにする。 【F児には】「今日は何の日だと思う。」と発問することで、得意としている場面でよさが発揮できるようにする。 ② 時間割を確認した後、「はてなカード」に書かれてある質問になかなか答えられない子どもには、再度一日のスケジュールと一緒に確認したり、学習の内容を教えたりすることで、自分なりの目標を想起させることができるようにする。 ③ 当番活動をなかなか取り掛かろうとしない子どもには、当番活動のカードに書いてある内容を一緒に読んだり、その子どもができる活動を勧めたりすることで、意欲的に活動ができるようにする。 【B児には】周りの友達の様子に気付かせるような発問をすることで、友達へ言葉掛けることができるようにする。 【E児には】ペアとする活動を勧めることで、確実に当番活動をやり遂げられるようにする。
(10)	(10) ハッピータイム(お楽しみタイム)をする。  今日も一日頑張るぞ。	② 「すすんでできるもんコース」では、見届けをすることで、活動を中途半端にせずに、最後までやり遂げることができるようにする。できたときには、花丸カードを渡すとともに称賛することで、達成感や次の活動への意欲につながるようにする。 【C・D児には】当番活動の中でも、それぞれが得意な活動を進めることで、進んで活動をやり遂げられるようにする。 ② 特に、友達とペアになって行う当番活動内容については、友達への言葉掛けができていないか、協力してできているかをしっかり見届けることで、協力してできたことよさに気付くことができるようにする。 ③ 全体でがんばりボードを振り返り、今日の頑張りを称賛することで、互いのよさや頑張りを認め合ったり、成果を喜び合ったりすることができるようにする。 ① 「はてなカード」を振り返ることで、ポイントに気を付けてあいさつをすることができるようにする。 ③ 花丸の数は、連絡帳に記入することで、頑張りの成果を家庭でも称賛してもらうことができるようにする。
	(11) 終わりのあいさつをする。	